

8.2 環境監視

事後調査とは別途、環境監視を実施するものとする。

環境監視を実施する項目及び内容等は以下のとおりであり、環境監視の結果は、事後調査結果などの検討・検証のために設置する事後調査委員会(仮称)にも報告し、指導・助言を受ける。

なお、環境監視の結果は、事後調査と同様の方法で公表することとする。

1) 地下水

環境監視の概要は以下に示すとおりである。

項目	地下水の水位、SS
調査地点・範囲	事業実施区域から海域にかけてのボーリング調査地点5地点
調査時期等	工事の実施及び施設の供用後3～5年程度。 地下水の水位は通年観測、SSは年4回。 また、浸透ゾーンの設定後の初期段階において、大雨により浸透ゾーンに濁水の流入があった場合、地下水の濁りについて観測を実施。
調査方法	水位計等により水位を観測し、ボーリング地点から採水した試料を持ち帰りSS濃度を分析する。 地下水の濁りの観測は、ボーリング調査地点から採水を行い、透視度計(50cm～1m)で計測する。

環境監視の結果により環境影響の程度が著しい変化が認められる場合は、浸透ゾーンへの濁水の流入を一時中断した上で、工事区域内の調整池等の容量を増やし、濁水を貯留、濁水の前処理の強化、浸透ゾーンの底面に敷き砂の補強など、適切な赤土等流出防止対策を講じる。なお、具体的な対策については、工事実施段階までに専門家から指導・助言を得た上で、決定する。

2) 陸上動物

環境監視の概要は以下に示すとおりである。

項目	ボックスカルバート内、ボックスカルバートの上流部及び下流部、空港西側及び北側に創出する緑地のオカヤドカリ類及びヤシガニの利用状況
調査地点・範囲	ボックスカルバート内、ボックスカルバートの上流部及び下流部、空港西側及び北側に創出する緑地
調査時期等	調査期間は施設の供用後3～5年程度(状態が安定した時点で終了)。 調査時期は年1回程度(繁殖期)。
調査方法	ボックスカルバート周辺及び空港西側及び北側に創出する緑地に出現する個体及びボックスカルバートに出入りする個体の目視観察により利用状況を記録する。